



盛岡市に補助継続を要望

盛岡市の43学童保育クラブと盛岡市学童保育連絡協議会、岩手県学童保育連絡協議会は、1月7日に「放課後児童クラブ利用料補助金の継続要望書」を内館茂盛岡市長に提出しました。盛岡市連協からは及川隆浩副会長、中村由可子副会長、茨木暢浩事務局長、橋本有紀事務局次長、小笠原秀夫顧問、嘉村祐之顧問、佐藤尚弘上田学童保育クラブ会長が出席。県連協からは阿部勝会長が出席しました。昨年末、盛岡市は同補助金について26年度は見直しせず、当初予算案に関連経費を盛り込むと、議会に説明していました。盛岡市連協は同補助金を27年度以降も継続することを求めて要望を行うこととし、市内の学童保育クラブに呼びかけし、市連協未加盟を含めた25団体43クラブが趣旨に賛同し、要望に参加しました。



（左から）阿部勝県連協会長、内館茂盛岡市長、及川隆浩盛岡市連協副会長、茨木暢浩同事務局長

盛岡市連協の及川副会長が要望書を内館市長に手渡し、「利用補助金の創設以降、学童保育の充実が図られ、子どもたちの生活の充実と、保護者の就労を支えてきた。補助金の見直しについて、市内の学童保育クラブから大きな不安の声が寄せられていた。今回は補助金見直しの対象から外されたが、今後も補助金を継続し、子ども真ん中の盛岡市政を実現していただきたい」と趣旨を説明。これに対し内館盛岡市長は「皆さんにはご不安をかけてしまったが、市民の皆さんとの声や議会での議論もあり、令和8年度はそのまままとすることにした。盛岡市の学童保育クラブは運営が厳しいなか、協力しあって運営していると認識している。子どもの生活と保護者の就労を支える場を今後も整えていきたい。盛岡市は未来創造プロジェクトの中で、子育て応援プロジェクトを進めていく。今後とも協力をお願いしたい。担当課の職員もがんばっており、ぜひ応援していただくとともに、色々なご意見があると思うが、良い面も悪い面も伝えてほしい」と応じました。

その後の懇談で阿部県連会長は「岩手県には400を超える学童保育クラブがある。その中でも保護者が高額な家賃を負担して施設を維持しているのは盛岡市だけで、盛岡の保護者は大変な苦労をしながら学童保育を運営している。今後ともご支援をお願いしたい」と述べました。【要望書の写しは裏面に掲載】

【盛岡市の「放課後児童クラブ利用補助金」見直し問題】

昨年10月に盛岡市は財政健全化を理由に123事業について見直しを行う方針を示した。そのなかで「放課後児童クラブ利用料補助金」が対象とされていたもの。同補助金は主に①低所得世帯の利用料補助②兄弟姉妹の同時入所への利用補助（所得制限あり）からなり、新聞報道によると2024年度は212人に対して2372万円の補助実績があったとのこと。盛岡市学童保育連絡協議会では同補助金が見直されることに不安を感じている保護者がいること、子どもたちの生活に与える影響が大きいことから、11月25日に盛岡市に対し緊急要望書を提出。議会でも継続を求める市民の声が取り上げられ、市は12月22日の市議会全員協議会で、123事業のうち、同補助金を含む子育て支援関連の3事業については26年度は見直さないとし、当初予算案に関連経費を盛り込むと説明した。

令和8年1月7日

盛岡市長 内館 茂 様

上田第一学童保育クラブ

上田第二学童保育クラブ

会長 佐藤 尚弘

宇宙学童クラブ(社会福祉法人わかば会)

理事長 鈴木 禮子

町あおやま学童保育クラブ

代表 川又 康主

町けやき子供会

町第2けやき子供会

代表 川又 康主

学童保育クラブくるみ子ども会

第2くるみ子ども会 (NPO 法人くるみ子ども会)

理事長 佐々木由樹子

こずかた学童クラブ

第二こずかた学童クラブ

保護者会会長 吉田 昌史

仙北学童保育クラブ

東仙北あじさい学童保育クラブ

会長 橋場 裕一

高松学童保育クラブ

会長 大石 憲一

中津川学童保育クラブ

会長 堀口 忍

緑が丘学童保育クラブ

第二緑が丘学童保育クラブ

第三緑が丘学童保育クラブ

会長 勝田 智彦

松園学童保育なかよしクラブ

父母会会长 伊藤 敦美

本宮学童保育クラブ

会長 管原 昌江

山岸学童クラブ

会長 鈴木 利

あいうえお学童クラブ
代表 羽田野 由香利

太田児童クラブ
館長 渡邊 不二夫

さくら学童クラブ (学校法人桜学園)
理事長 鈴木 昭

さっこらくらぶ (NPO 法人 六等星)
理事長 斎藤 真也

サンガキッズ山岸
サンガキッズ山岸第2
サンガキッズ津志田
所長 佐々木 あおい

スコーレ第一学童クラブ
スコーレ第二学童クラブ
理事長 菊池 基成

誠文館学童クラブ
大宮よつば学童クラブ (社会福祉法人一誠会)
理事長 高橋 学

ESK つしだ学童クラブ
ESK つしだ学童クラブ第2 (株式会社カワハラ)
福祉事業部長 佐々木 健太

学童保育クラブ町ひのき子供会
代表 川又 康主

学童保育町なかのクラブ
代表 川又 康主

仁王学童育成クラブ輝き
仁王学童育成クラブにこにこ
会長 石田 知世

盛岡 YMCA ぶらいむ・たいむ中央校第1学童
盛岡 YMCA ぶらいむ・たいむ中央校第2学童
盛岡 YMCA ぶらいむ・たいむ前陽校
盛岡 YMCA ぶらいむ・たいむ向中野校第1学童
盛岡 YMCA ぶらいむ・たいむ向中野校第2学童
盛岡 YMCA ぶらいむ・たいむ盛南校
チャイルドケア事業部統括 小川 嘉文

盛岡市学童保育連絡協議会
会長 北館 香奈恵



岩手県学童保育連絡協議会
会長 阿部 勝



『放課後児童クラブ利用料補助金』の継続要望書

日頃より、学童保育クラブの運営にご理解・ご協力を賜り、また、物心両面のご支援に対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、10月25日の岩手日報1面に「盛岡市123事業見直しへ」との報道がなされました。事業見直し一覧には「放課後児童クラブ利用料補助金」も対象事業とされ、報道に接した各学童保育クラブでは来年度における事業運営に関して不安を感じ、利用している保護者からは驚きと不安の声が出されたところです。

各クラブとも厳しい運営状況の中であっても、保護者の就労等を支援するというニーズに応え、子ども達の遊びと生活の場としてふさわしい質の確保をめざし、適正な施設の維持・運営に努めてまいりました。そのうえで、様々な機会を通して、事業運営に不足している事業を要望し運営改善を進めながら、保護者の就労を支えと子ども達の生活の充実を進めてまいりました。

しかしながら、今回の事業見直しに「放課後児童クラブ利用料補助金」が対象となったことは学童保育の安定はおろか、就労支援としても保護者に対し重き課題を突き付けることになりかねないと考えており、今後の市政運営に関して、下記のとおり要望させていただきます。

つきましては、保護者と子どもたちが安心して学童保育を利用するためにも、真摯なご検討とご回答をお願いします。なお、回答に際しましては、1月23日までに文書にて賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

1 放課後児童クラブ利用料補助金（低所得者等の利用料助成）

学童保育クラブの利用しやすい環境と保護者の就労等の支援を確保する観点から、放課後児童クラブ利用料補助金について、事業継続を要望します。